

教科名	武道	科目名	少林寺拳法
対象	科目選択者	年次	全学年
添削指導回数	4	面接指導時数	4
単位数	2単位	備考	学校設定科目
教科書・補助教材等	少林寺拳法読本、少林寺拳法科目表		
学習の目的	(1)武道独特の動きを学びながら、武道の歴史などの知識も身につけさせるようにする。 (2)自らの能力・技術に応じた課題を見つけ、課題解決・研究する能力を身につけさせる。 (3)自分と相手の健康や安全に留意し、互いに思いやりながら取り組める能力を身につけさせる。		
学期	月	学習内容	学習のねらい・目標
前期	4	武道 少林寺拳法 (昇格練習・武道理論)	・基本的な体の使い方を身に付ける。 ・各自の資格に応じて技の修得を目指し、昇格へつなげていく。 ・礼儀と礼節を学び、技術は基本から入り、応用技に発展させていく。 ・武道の成り立ちと少林寺拳法の特徴について学ぶ。 ・単独演武、組演武の練習を行い、組手主体の在り方について理解する。 ・少林寺拳法読本を元に、少林寺拳法の歴史や思想の捉え方を研究する。 ・高負荷のトレーニングで自己の限界を超え、健全な肉体と妥協しない精神力を身に付ける。
	5	※基本練習 ※技練習	
	6	※演武練習 ※読本解説 ※ウエイトトレーニング	
	7	※作務	
	8		
後期	9	武道 少林寺拳法 (昇格練習・武道理論)	・基本的な体の使い方を身に付ける。 ・各自の資格に応じて技の修得を目指し、昇格へつなげていく。

学期	月	学習内容	学習のねらい・目標
後期	10	※基本練習 ※技練習 ※演武練習	・礼儀と礼節を学び、技術は基本から入り、応用技に発展させていく。 ・武道の成り立ちと少林寺拳法の特徴について学ぶ。 ・単独演武、組演武の練習を行い、組手主体の在り方について理解する。 ・少林寺拳法読本を元に、少林寺拳法の歴史や思想の捉え方を研究する。 ・高負荷のトレーニングで自己の限界を超え、健全な肉体と妥協しない精神力を身に付ける。
	11	※読本解説 ※ウエイトトレーニング ※作務	
	12		
	1		
	2		
	3		
学習上の留意点		(1)用具の点検や、生徒の体調の変化を確認し安全に留意する。 (2)参加している生徒と参加しない生徒が出ないように、全体を見ながら指導する。 (3)種目特性や男女差を考慮して活動を行う。	
評価の観点			評価方法
主体的に学習に取り組む態度	自ら進んで授業に参加しているか。また、仲間と協力して活動しているか。		(1)授業への参加の仕方や意欲、態度
思考・判断・表現	自分と相手の状態を判断しながら、技の研究ができたか。		(2)技能テスト (3)レポート
知識・理解	武道の歴史や少林寺拳法の特徴について理解できたか。		